

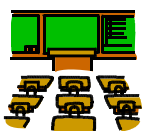
## 大人は子どもの手本になれるか

校長 渡部 慎治

大分県の中学2年生2人が、修学旅行で利用した全日空機から救命胴衣を持ち帰るといふ事件があった。生徒は「塾の先生に持って帰ってこいと言われた」と説明しているそうだが、それが本当なら、困った大人がいるものだ。

私が小学生のとき、車1台が通れるくらいの田んぼの中の小道を通学していた。今と違って、車もめったに通らないので、道の真ん中を歩く友達も多かった。中学校はその反対で、センターラインはないものの、車がすれ違うことができるほどの広い道だった。中学生になり、「今日から集団登校ではなくひとりだ。上級生はどんなふう歩いているのだろう。きっと、小学生と同じように右側ではなく適当に歩いているのだろう。」と、思いながら家を出た。しばらくして、メインの大きな道路に出て、びっくりした。中学生はみんな、道路の右端をきちんと歩いていたのだ。真ん中や左側を通っている者はひとりもない。小学生のばらばら状態と比べると、雲泥の差だ。整然と歩いている中学生の姿を見て、「これが中学生か。小学生とは違う。すごい。」とカルチャーショックを受け、上級生の行動を手本にした。40年以上も前のことだが、今でもよく覚えている。

毎日、電車で通勤しているが、車内の風景は40年前と随分変わった。特に、大人の変わりようは大きいようだ。携帯電話禁止の座席なのに、操作している人。着信音が鳴り響き、切るのかと思いきや「今電車の中にいるの。何か用？」と、長々と話し始める人。立っている人がいるのに、バッグを座席の横に置いて1.5人分占有している人。ペットボトルを出して飲み始める人。口臭対策なのか、ガムを食べて周りにミントの強烈な臭いを出す人。若者のそのような姿は目にしたことはあったが、この頃は、分別や常識のあるはずのサラリーマンや御婦人、年配の人に結構多い。私が初めて電車通学を始めたときは、「電車に乗るときはあのようにすればいいのだな」と、大人のしぐさを手本にしたものだ。新参者の多い4月の車内は騒々しく規律がないが、5月になると彼らもマナーを身に付け、車内は落ち着いていった。社会のルールはそうやって引き継がれていく。



今、大人は若者の手本になっているのだろうか。「守らない大人もいるけれど、皆さんは守りましょう」などと、学校で教えるのは何とも情けない。子どもたちにとっては、学校の外も「教室」であり、「授業中」なのだ。

## 11月9日(水)10日(木) 松山市小学校連合音楽会

松山市民会館大ホールで松山市小学校連合音楽会が開かれました。松山市の小学校53校が出演しました。

北久米小学校は、10日(木)の午前の部に出演しました。8日(火)の校内音楽集会で全校児童の前で演奏した曲、合奏「生命の息吹」と合唱「Tomorrow」を演奏しました。



校内音楽集会で…

2学期になって、連合音楽会を目指して毎日練習を重ねてきた成果が現れ、大きなホールのステージで演奏する子どもたちはとても堂々としていて、伸びやかな歌声と支えあう音のハーモニーを聞かせてくれました。演奏後の子どもたちの表情は、満足感に輝いていました。

## きれいに咲き始めた花

子どもたちが毎朝、チューリップの球根を植えた鉢やビオラの鉢植え、パンジーを植えたプランターの手入れをしています。大きく育ち鮮やかに咲くようにと水をやり、ビオラとパンジーは咲き終わった花を一つ一つ摘み取っています。

2年生から5年生が11月の中旬に植え替えをした花は、子どもたちの世話のおかげでしっかりと根付き、次々とつぼみをつけ、花を咲かせるようになりました。1年生が植えたチューリップの球根は土の中で芽を出す準備をしているようです。

3月の卒業式には、自分たちが育てた花で会場を美しく演出しようと、寒い朝にもひしゃくを手に水をやり、咲き終わった花を摘もうか置いておこうか友だちや先生方と相談しつつ、とても楽しそうに世話をしています。

1年生と2年生の鉢は中庭に、3年生から5年生の鉢とプランターはロータリーの北側に置いてあります。来校されたときには、ぜひ、ご覧ください。



チューリップ、早く芽を出さないかなあ



たくさん花が咲きますように

## ときめきサイエンス教室

11月18日（金）松山助産師会の方に来校いただき、5年生を対象に、ときめきサイエンス教室が開かれました。

5年生は、理科の授業で学習している「人のたんじょう」について、助産師の方から、生命の始まり、胎児の成長、生命の誕生についてのお話を聞きました。また、実際の大きさの胎児の人形や誕生のころの赤ちゃんの人形を抱いたりしながら、自分や兄弟のことを話したり、助産師の方にいろいろな質問をしたりしました。

日々、生命の誕生に向かい合っている助産師の方のお話は、一言一言に重みがあり、話を聞く子どもたちの表情からは、穏やかな中にも真剣さが感じられました。生命の誕生の仕組みについてだけでなく、多くの人に支えられて生まれてきたこと、赤ちゃん自身と母親とが力を合わせて生まれてくることなどを知り、子どもたちは、改めて命の尊さや育ててくれたことに対する感謝の思いを強く感じたようでした。



生まれたての赤ちゃんは…



「思ったより重いんだなあ」

また、先月になりますが、10月14日（金）には、6年生を対象に、愛媛県総合教育センターの方に来校いただき、「土地のつくりと変化」についてのお話を聞かせていただきました。地震のメカニズムや松山周辺の地質についてのお話を聞きました。また、実物に触れながら松山周辺で見られるいろいろな岩石のでき方や特徴についても教えていただきました。

身近な場所についてのお話や実物に触れる経験は、普段あまり意識していない土地に対する考え方を「もともとあるもの」から「できたもの、変化しているもの」に変えたようです。教科書で紹介されている、砂岩、れき岩、泥岩について、センターから持ってきていただいた実物を見ながら、子どもたちはそれぞれの特徴を自分たちで見付けていました。特に、泥岩については葉の化石を含むものを用意していただき、発見の驚きの声を上げながら観察していました。

近い将来起こるであろうと言われている高知沖を震源とする地震については、子どもたちも強い関心を持って聞いていました。プレート

の移動が原因であることを知り、日本各地で最近起きている地震についても、今まで以上に意識し始めています。ぜひ、ご家庭でも、大きな地震が起きたときにどのように避難するのかなど、話し合われてみてはどうでしょうか。



3月11日には…



これが、れき岩じゃないかなあ

## 11月26日(土) 校内音楽会

今年も、恒例の校内音楽会が開かれました。

今年、「未来へつなごう♪歌のかけはし」をテーマに、各学年が演奏しました。

金管バンド部の「じょいふる」「ヘビーローテーション」で幕を開け、1年生の始めの言葉で音楽会がスタートしました。

- 1年生 歌「学校坂道」、合唱奏「こいぬのマーチ」  
合唱「青い空に絵をかこう」
- 3年生 合奏「山のポルカ」、合唱奏「ドレミの歌」
- 5年生 合奏「生命の息吹」、合唱「Tomorrow」
- 2年生 歌「手のひらを太陽に」、合唱奏「よろこびのうた」
- 4年生 合唱と合奏「銀河鉄道999」
- 6年生 合唱「祈り」、合奏「シング シング シング」
- 全校合唱 「歌よありがとう」

6年生の終わりの言葉で、演奏会の幕をおろしました。

どの学年も、毎日の練習の様子がかがえるすばらしい演奏でした。

春からはや8か月、ずいぶん頼もしくなってきた1年生の歌声、3年生が今年習い始めたリコーダーでの演奏、連合音楽会で演奏を思い起こさせる5年生の発表、手を取り合おうとメッセージを込めた2年生の歌声、歌声と楽器演奏とで魅せた4年生の演奏、そして、思いを込めた6年生の演奏、本当にすばらしい音楽会になりました。